

(トップページ: <http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/> )

(MENAランキングシリーズ: <http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/MENAranking.html> )

マイライブラリー:0347

(注)本稿は 2015 年 6 月 16 日から 24 日まで 4 回にわたり「アラビア半島定点観測」に掲載したレポートをまとめたものです。

2015.6.25  
前田 高行

## MENA トップはクウェイト、それでも世界 180 カ国中 90 位:報道の自由度(2015 年版)

(MENA なんでもランキング・シリーズ その6)

目次	頁
1. 「World Press Freedom Index」について	2
2. 2015年版の MENA 各国の「報道の自由度」ランク	2
3. 2014年と2015年の自由度の比較	4
4. 2010年から2015年までの順位の推移	
(1)2010年と2015年の比較	4
(2)主要国の2010～2015年の推移	5

中東北アフリカ諸国は英語の Middle East & North Africa の頭文字をとって MENA と呼ばれています。MENA 各国をいろいろなデータで比較しようと言うのがこの「MENA なんでもランキング・シリーズ」です。「MENA」は日頃なじみの薄い言葉ですが、国ごとの比較を通してその実態を理解していただければ幸いです。なお MENA の対象国は文献によって多少異なりますが、本シリーズでは下記の 19 の国と 1 機関(パレスチナ)を取り扱います。(アルファベット順)

アルジェリア、バハレーン、エジプト、イラン、イラク、イスラエル、ヨルダン、クウェイト、レバノン、リビア、モロッコ、オマーン、パレスチナ自治政府、カタール、サウジアラビア、シリア、チュニジア、トルコ、UAE(アラブ首長国連邦)、イエメン、

これら 19 国・1 機関をおおまかに分類すると、宗教的にはイスラエル(ユダヤ教)を除き、他は全てイスラム教国家であり OIC(イスラム諸国会議機構)加盟国です。なおその中でイラン、イラクはシーア派が政権政党ですが、その他の多くはスンニ派の政権国家です。また民族的にはイスラエル(ユダヤ人)、イラン(ペルシャ人)、トルコ(トルコ人)以外の国々はアラブ人の国家であり、それらの国々はアラブ連盟(Arab League)に加盟しています。つまり MENA はイスラム教スンニ派でアラブ民族の国家が多数を占める国家群と言えます。

第6回の MENA ランキングは、ジャーナリストの NGO 団体「国境なきレポーター(Reporters Without Borders)」(略称:RSF)が発表した「報道の自由の指標2014(Press Freedom Index 2014)」から MENA 諸国をとりあげて比較しました。



RSF ホームページ:<http://index.rsf.org/#/>

## 1. 「World Press Freedom Index」について

「国境なきレポーター(Reporters Without Borders)」は、1948年の世界人権宣言、及びこれに続く1950年の「人権と基本的自由の保護に関する会議」などで採択されたいくつかの憲章や宣言に触発され、各国の報道関係者が自発的に結成した非政府組織(NGO)である。フランスのジャーナリストが中心となって設立されたため、正式の組織名は Reporters Sans Frontieres であり、その頭文字をとって RSF と略称され、本部はパリにある。

RSF は、世界各国で取材妨害を受け、時には生命の危険に晒されているジャーナリストを保護し、その障害を取り除く活動を行っており、その一環として2002年から毎年、報道の自由度に関する各国のランク「報道の自由の指標(Press Freedom Index)」を公表してきた。この指標は RSF が作成した50項目のアンケートに対して、世界各地の表現の自由のための擁護組織団体及び多数のジャーナリストが回答した結果を集計したものである。

2015年版 Press Freedom Index は世界180カ国の報道の自由度を指標化し、ジャーナリストに対する各国の対応ぶりを評価したものである。このため直近に報道の規制または記者の逮捕などの政府の取材妨害があった国、或いはジャーナリストが誘拐・殺害に遭った国についてはその年のランクが低くなる傾向がある。なお、RSF 自身は、このランクは「報道の質」の良否を示すものではない、と断っている。

よく知られている通り2011年には多くの MENA 諸国に「アラブの春」と呼ばれる政治変革の嵐が吹き荒れた。チュニジア、エジプト、リビア、イエメンなど各国で独裁体制が崩壊したが、エジプトではその後の選挙でイスラム勢力が政権を奪取したかと思うや、わずか1年後にはその揺り返しとしての軍事独裁政権が復活しており、またシリアでは激しい内戦状態が続き、リビアやイエメンでも部族・宗派間抗争が多発するなど各国の政情はむしろ不安定の度合いを増している。このため MENA 域内でのジャーナリストの活動が危険に晒される状況は一向に改善される気配が見られない。

(MENA の世界平均順位は180カ国中139位！)

## 2. 2015年版の MENA 各国の「報道の自由度」ランク(末尾表 6-T01 参照)

MENA 19カ国1機関(上記参照)の中で最もランクが高かったのはクウェイトの世界90位である。これに次ぐのがレバノンの98位であるが、世界の調査対象国全180か国の中ではいずれも下位

グループに入る。また両国以外のMENA 諸国はすべて100位以下で、MENA の世界平均順位は139位と言う極めて低いものである。

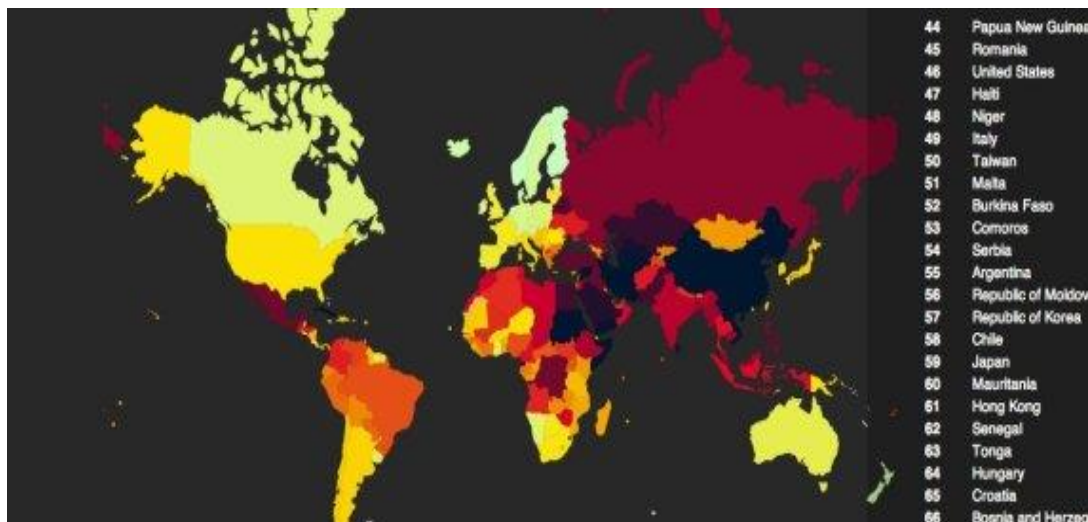
MENA3位はイスラエルの世界101位であり、カタールとアルジェリアが世界110位台、UAE、チュニジア、及びオマーン3か国が120位台、MENA9位のモロッコは世界130位である。MENA10位のパレスチナ自治政府は世界140位であり、ヨルダン(143位)、トルコ(149位)と続き、リビア以下8か国は世界順位150位以下である。

中東の大国とされているエジプト、サウジアラビアおよびイランはそれぞれ158位、164位、173位でイランは報道の自由度で世界180か国中の最低レベルである。MENA で最も自由度が低いシリアは177位である。

ちなみに世界で報道の自由度が最も高い国はフィンランドで上位の多くは北欧の国々である。日本は世界61位であり米国(49位)より低く先進国の中ではかなり評価が厳しい。なお中国は世界176位であり、イラン、シリアと同程度の最下位グループに評価されている。世界1位のフィンランドのポイントは一桁の7. 52であるのに対して(ポイントが低いほど自由度が高い)、MENA トップのクウェイトが30. 84、最も低いシリアは77. 29、MENA の平均は46. 27である。フィンランドとMENA 各国の格差は非常に大きいと言える。(参考: 米国24. 41、日本26. 95、中国73. 55)

RSF のレポートではポイントに応じて各国の自由度を下記の5つに分類し色分けをした世界地図を掲載している。

- (1) 白色: 0~14ポイント(Good situation)
- (2) 黄色: 15~24ポイント(Satisfactory situation)
- (3) 橙色: 25~34ポイント(Noticeable problems)
- (4) 赤色: 35~54ポイント(Difficult situation)
- (5) 黒色: 55~100ポイント(Very serious situation)



この色分け地図では白色が最も自由度の高い国家群とされ、続いて黄色、橙色、赤色と移り、最後の黒色は報道の自由度が非常に深刻な状況にある国々とされている。これを見ると MENA の国々の多くは赤色であり、最低レベルの黒色もサウジアラビア、イラン、イエメン、シリアなど5か国に達している。

(MENAの平均順位は2年間変わらず139位！)

### **3. 2014年と2015年の自由度の比較(末尾表 6-T01 参照)**

報道の自由度のMENAの世界平均順位は前回も今回も139位であり変化は見られない。またMENAの中でもクウェイト、カタール、UAEなど上位グループとサウジアラビア、イランなど下位グループの間に大きな順位の変動は無い。上位グループではクウェイトが2年連続でMENA トップである。イスラエルは昨年世界96位であったが今回は再び100位以下に下がっている。目立って順位の下がった国はリビアで、同国は昨年の世界137位から今年は154位の世界最低クラスまで落ちている。MENA19か国一機関の中で昨年より順位を落とした国は8か国である。

逆に昨年よりも世界順位を上げた MENA の国は8か国ある。最も順位をアップさせたのはレバノンで昨年の106位から98位に上がっている。またチュニジア、オマーンも順位を7つ上げており、モロッコは6つ上げている。MENA で順位を上げた国と下げた国は同数であり、MENA の平均順位も昨年と変わりはないが、平均ポイントは昨年の45.72に比べ今年は46.27である。MENA の報道の自由度は昨年より悪化していると言える。

因みに日本は2014年のポイント26.02から2015年には26.95に悪化しており、世界順位も59位から61位に下がっている。米国および中国も同様に世界順位はそれぞれ46位→49位、175位→176位へとわずかではあるが下がっている。

### **4. 2010年から2015年までの順位の推移**

(2011年以降報道の自由度が大幅に下がった「アラブの春」の国々！)

#### **(1)2010年と2015年の比較(末尾表 6-T02 参照)**

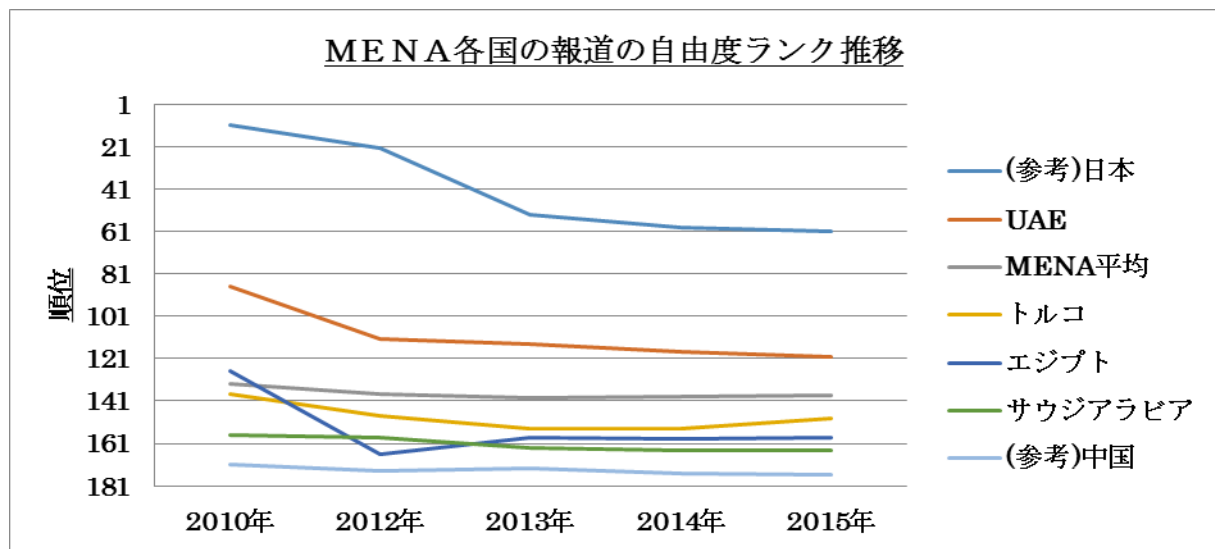
2010年と2015年の MENA19か国一機関の世界順位を比較すると順位がアップした国が8か国であったのに対して下落した国は12か国もある。全世界の調査対象国数が2010年の178から2015年には2カ国増えて180か国であるため、総じて世界順位が低い MENA の場合、2～3位程度下落はほぼ横ばいとみなすこともできるが、問題は順位を10位以上悪化させた国が8か国もあることである。

最も順位を下げた国は UAE で2010年の87位に対して2015年は120位に大幅に下落している。その他エジプト(127位→158位)、イラク(130位→156位)、ヨルダン(120位→143位)、レバノン(78位→98位)、バハレーン(144位→163位)など多くの国で報道の自由度が大きく下落している。

これらの国は2011年の「アラブの春」で体制が揺らぎ、中にはエジプトのように軍事独裁政権か

らイスラム政権、そして再び軍事政権に戻るなど大きな政治的変動に見舞われ、いまだ政情が不安定な国が多い。2010年以前の MENA の報道の自由度は独裁政権のため自由度が低いとされていたが、2011年以降はむしろ政情不安・治安の悪化によりジャーナリストの自由な取材が制限され、あるいは身体的な危険が大きな問題となっている。そしてその懸念は緩和するどころかむしろ悪化しているのが現状なのである。

## (2) 主要国の2010～2015年の推移



MENAの主要国であるトルコ、エジプト、サウジアラビ、UAE4か国に日本と中国の過去5年間の推移を比べると、MENAの平均順位は130位台にとどまりしかも低落傾向にある。その傾向を最も端的に示しているのがUAEとエジプトである。UAEは2010年には世界87位であったが2012年には100位以下の112位に転落、その後も年々ランクを下げ2015年には120位にとどまっている。エジプトは2010年段階ですでに世界178か国中の127位であったが、「アラブの春」の翌2012年には世界179か国中の166位と最低レベルに落ち込んでおり、その後も150位台後半にとどまっている。

トルコも2010年の138位から2013、14年には154位まで落ち込んだが、今回は149位と改善の兆しが見られる。サウジアラビアは5年間を通じて160位前後を上下している。同国は「アラブの春」およびその後のイラク、イエメンなど周辺国の政情不安による影響は抑え込んだものの、絶対君主制の独裁体制は変わらず、報道の自由度が改善する兆候は見えない。

なお日本は2010年には世界11位であったが、2012年には22位、さらに2013年は53位と大きく順位を下げ、その後も低落傾向が止まらない状況である。また中国は5年間を通じて世界170位台にとどまったままである。

以上

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行

〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601

Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642

E-mail; maeda1@jcom.home.ne.jp

### MENA(中東・北アフリカ)なんでもランキング 6:報道の自由度

国名	2015年		2014年		2015/2014	
	ポイント	世界順位	ポイント	世界順位	ポイント	世界順位
クウェイト	30.84	90	30.71	91	-0.13	1
レバノン	31.81	98	31.89	106	0.08	8
イスラエル	32.09	101	31.19	96	-0.90	▲ 5
カタール	35.35	115	34.32	113	-1.03	▲ 2
アルジェリア	36.63	119	36.26	121	-0.37	2
UAE	36.73	120	36.03	118	-0.70	▲ 2
チュニジア	38.68	126	38.69	133	0.01	7
オマーン	38.83	127	38.83	134	0.00	7
モロッコ	39.19	130	39.72	136	0.53	6
パレスチナ自治政府	41.01	140	40.11	138	-0.90	▲ 2
ヨルダン	42.07	143	40.42	141	-1.65	▲ 2
トルコ	44.16	149	45.87	154	1.71	5
リビア	45.99	154	39.84	137	-6.15	▲ 17
イラク	47.76	156	45.44	153	-2.32	▲ 3
エジプト	50.17	158	51.89	159	1.72	1
バハレーン	58.69	163	58.26	163	-0.43	0
サウジアラビア	59.41	164	58.30	164	-1.11	0
イエメン	66.36	168	67.26	167	0.90	▲ 1
イラン	72.32	173	72.29	173	-0.03	0
シリア	77.29	177	77.04	177	-0.25	0
(MENA 平均)	46.27	139	45.72	139	-0.55	0
世界 1 位(フィンランド)	7.52	1	6.40	1	-1.12	0
日本	26.95	61	26.02	59	-0.93	▲ 2
米国	24.41	49	23.49	46	-0.92	▲ 3
中国	73.55	176	72.91	175	-0.64	▲ 1
世界最下位(エリトリア)	84.86	180	84.83	180	-0.03	0
(国数)		180カ国		180カ国		

**報道の自由度(2010～2015年世界順位の推移)**

国名	2010年	2012年	2013年	2014年	2015年
(全対象国数)	178カ国	179カ国	179カ国	180カ国	180カ国
アルジェリア	133	122	-	121	119
バハレーン	144	173	165	163	163
エジプト	127	166	158	159	158
イラン	175	175	174	173	173
イラク	130	152	150	153	156
イスラエル	86	92	112	96	101
ヨルダン	120	128	134	141	143
クウェイト	87	78	77	91	90
レバノン	78	93	101	106	98
リビア	160	154	131	137	154
モロッコ	135	138	136	136	130
オマーン	124	117	141	134	127
パレスチナ自治政府	150	153	146	138	140
カタール	121	114	110	113	115
サウジアラビア	157	158	163	164	164
シリア	173	176	176	177	177
チュニジア	164	134	138	133	126
トルコ	138	148	154	154	149
UAE	87	112	114	118	120
イエメン	170	171	169	167	168
(MENA 平均)	133	138	139	139	139
世界 1 位	フィンランド/ アイスランド/ オランダ/ ノルウェー/ スウェーデン/ スイス	フィンランド/ ノルウェー	フィンランド	フィンランド	フィンランド
日本	11	22	53	59	61
米国	20	47	32	46	49
中国	171	174	173	175	176
世界最下位	エリトリア	エリトリア	エリトリア	エリトリア	エリトリア